

# 事例集活用の手引き

- ◎ここでは、教科・総合的な学習の時間における学習の展開例を紹介します。
- ◎対象となる校種、学年、教科などはあくまでも参考です。高校生を対象にしたものでも工夫しだいでは、小中学生にもできるでしょう。
- ◎学校の先生と教育普及担当の職員との間で打合せを行うことにより、より教育効果の高い展開が期待できます。
- ◎作品を鑑賞し、詩や物語をつくる、作曲する、ダンスを創作するなど国語、音楽、体育等の教科で利用できます。
- ◎修学旅行や社会科見学にも活用できます。具体的な利用方法などわからないことは博物館の職員に御相談ください。

## ■事例案の見方(見開き左ページ)

題 材 名

01 昔のくらしを調べよう

**博物館の展示品を見て、江戸時代の町屋のくらしを知ることができる**  
昔の生活や道具について調べ、昔の人々の知恵や工夫に気づき、当時の人々が生活の向上を願ってきたことを考えることができる。

**学習過程**

学 習 活 動	学校・博物館の支援	教材・資料など
<p>博物館のパンフレットをもとに見学計画を立てる</p> <p>○歴史文化博物館の館長や展覧資料について学習する</p> <p>○館ごとに展示計画を立てる</p>	<p>・学活等の時間を活用し事前に歴史文化博物館見学の心構えや注意事項を確認する。</p> <p>・インターネットなどを活用し博物館について事前に理解させる。</p> <p>■事前打ち合わせ/博物館⇄学校 ×展覧資料の確保</p> <p>・次の単元「ふるさと歴史マップ」で調べる文化財についてもふられておく。</p>	<p>・博物館(パンフレット) ・インターネット ・学習カード</p>
<p><b>博物館を見学しよう</b></p> <p>○歴史、祭、伝統産業などいろいろなコーナーを見学したり、ワークショップテーブルで体験学習をする</p> <p>○学芸員に昔の生活や道具の話を聞き、実際に体験することで当時の生活を知る</p>	<p><b>見学マナーの指導</b></p> <p>・各グループが調べるテーマに沿った見学や情報収集ができているか、職員と教師により引導する。</p> <p>・あらかじめ質問したいことをまとめておく。</p> <p>・「ふるさと歴史マップ」の文化財についても調べる。</p>	<p>・博物館(パンフレット)</p>
<p>○博物館で調べたことや、身のまわりの古い道具について調べたことを、今の道具とくらべながら絵カードにまとめる</p>	<p>・博物館のホームページを活用させる。</p> <p>・家庭にも送信などで連絡をし、家庭での調べ学習の時間を確保してもらう。</p>	

◎ 長崎歴史文化博物館 長崎歴史文化博物館教育普及課

この欄には、目標やねらいが書かれています

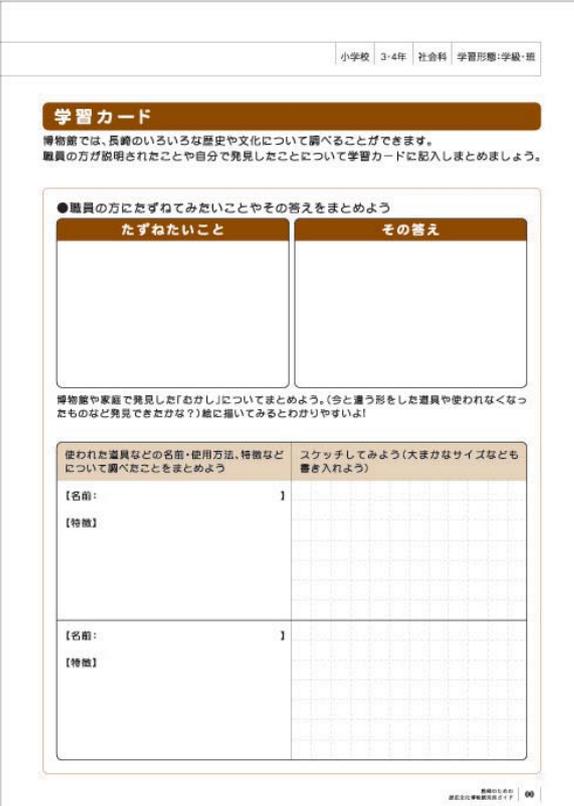
博物館における活動には網掛けをしています。

学習過程での位置付けについて書かれていますが、統一された文言ではありません。授業時間は目安としての時間です。

学校の教材と博物館の資料などが書かれています。

指導上の留意点と博物館の支援が書かれています。

■事例案の見方(見開き右ページ)



小学校 3・4年 社会科 学習形態:学級・班

**学習カード**  
博物館では、長崎のいろいろな歴史や文化について調べることができます。  
職員の方が説明されたことや自分で発見したことについて学習カードに記入しまとめよう。

●職員の方にたずねてみたいことやその答えをまとめよう

たずねたいこと	その答え

博物館や家庭で見つけた「おかし」についてまとめよう。(今と違う形をした道具や使われなくなったものなど発見できたかな?)絵に描いてみるのわかりやすい!

使われた道具などの名前・使用方法、特徴などについて調べたことをまとめよう	スケッチしてみよう(大きめのサイズなども書き入れよう)
【名前:】 【特徴:】	
【名前:】 【特徴:】	

博物館見学の  
学習カード活用事例集

校種・学年・教科等や学年・学級・班・個人などの学習形態が書かれています。

**作品解説や資料解説、学習カードなどが書かれています**

教育的な効果をより高めるために知っておきたいこと

- 低学年の児童には学習カードにふりがなをふることも考えられます。
- 学習カードにはイラストなどを入れると児童・生徒の興味関心は高くなると思います。
- 児童・生徒のみで鑑賞に来る場合は、マナーなどよりきめ細かな事前指導が必要です。
- 事前に博物館の施設ガイドなどを配布すると効果的です。
- ホームページなどで事前に情報を得おくことも大切です。
- 先生方が事前に作品鑑賞を行うことも大切です。作品を知ることによって授業も進めやすくなります。
- どのような目的で学習するのかを事前に博物館の担当職員と打合せすることで、多様なより深い内容となります。

■学習計画表参考例 下に示した学習計画表があることで、生徒の学習活動がわかりやすくなります

博物館見学 学習計画表		月	日( )
テーマ			
班 長	班 員		
副班長			
今日の目標		活 動 場 所	
時 間 刻	活 動 内 容 (具体的に記入しよう)	先生や学芸員からの指導・助言	

# 事例一覧

校種	教科・領域	題材	頁
小	社会科	<b>1.昔のくらしを調べよう</b> 博物館の展示品を見て、江戸時代の町屋のくらしを知ることができる。	20
小	社会科	<b>2.博物館探偵団</b> 館内展示物の中から「日本で最初」のものを探すことで、楽しく博物館を見学でき、また、日本や長崎の歴史に興味を持つことができる。	22
小	社会科	<b>3.鎖国と出島</b> 長崎の出島の様子を調べ、鎖国における出島の役割に関心を持つことができる。	24
小	社会科	<b>4.長崎開港一南蛮人ってどこの国の人？</b> 意欲的に博物館の展示物を調べ、中近世における貿易圏の拡大や、キリスト教の関係、鎖国との関わりなどが理解できる。	26
小	社会科	<b>5.寛文長崎図屏風から国際貿易都市長崎を見る</b> 意欲的に調べ、討議することで鎖国下の貿易を理解することができる。	28
小	社会科	<b>6.絵巻から見えてくるもの</b> 絵巻を手がかりにして、鎖国下の貿易について知ることができる。	32
小	社会科	<b>7.白州の裁きも、犯罪記録も覗けるぞ～長崎奉行を知ろう～</b> 復元された長崎奉行所立山役所を見ることで歴史への関心を高めることができる。	36
小	総合的な学習の時間	<b>8.たんけん はっけん 博物館！ ～長崎を知ろう～</b> 長崎の歴史や文化に関するテーマを意欲的に追求することで、長崎に対する誇りと愛情を深めることができる。	38
小	総合的な学習の時間	<b>9.歴史文化博物館の資料をもとに、私たちの住む長崎県を調べよう</b> 歴史文化博物館の資料を見学することで、興味・関心の高いテーマを設定した学習ができる。	40
小・中	社会科	<b>10.先人に学ぼうⅠ／雨森芳洲</b> ～日本と朝鮮の交流関係を知る～ 雨森芳洲や朝鮮通信使を通して江戸時代の日本と朝鮮の交流関係を知ることができる。	42
小・中	総合的な学習の時間	<b>11.先人に学ぼうⅡ／語学・医学・科学</b> 長崎の先人たちの生き方にふれることで、地域社会に対する誇りと愛情を育むことができる。	44
小・中	総合的な学習の時間	<b>12.学校に博物館をつくろう</b> 校内の施設を有効利用して、自分たちが制作した作品や資料などを展示し、創造的で美しい学校環境作りに生かすことができる。	46

校 種	教科・領域	題 材	頁
小・中・高	総合的な学習の時間	<b>13.博物館は宝箱!!</b> ～博物館の役割について学ぼう～ 日頃目にすることができないさまざまな施設を見学することで、美術館・博物館の役割について知ることができる。	48
中	社会科	<b>14.長崎から江戸時代を考える</b> 「長崎から」という視点で江戸時代がどのような時代であったかを考え、改めて長崎の歴史を知ることができる。	50
中	社会科	<b>15.鎖国下の長崎の様子について知ろう</b> 長崎の江戸時代の様子について博物館で調べることで、より深く歴史に関心を持つことができる。	52
中	総合的な学習の時間 選択社会科	<b>16.長崎県の工芸品について知ろう</b> 博物館に展示している工芸品を調べることで、長崎県の特産品や伝統産業について知ることができる。	54
中	総合的な学習の時間	<b>17.郷土長崎を知ろう</b> 自分たちの郷土長崎県の歴史や文化に関するテーマを設定し、自ら学ぶ意欲を持ち、課題解決に向かって努力することができる。	56
中	総合的な学習の時間	<b>18.長崎県の文化財について学ぼう</b> 21世紀を担うこどもたちが、文化財の存在を知り、学習を深めることで、文化財保護の意識を高めることができる。	58
高	日本史	<b>19.近世長崎の歴史年表を完成させよう</b> 博物館の展示資料を見ながら、近世長崎の歴史年表を完成させることで、長崎の歴史に対する理解や関心を深めることができる。	60
高	日本史A	<b>20.「波佐見焼」について調べよう</b> ～くらわんか碗って何だ?～ 長崎県の伝統産業である「波佐見焼」を調べることでその特徴や「波佐見焼」が近世の人々の生活を変えたことを知ることができる。	64
高	総合的な学習の時間	<b>21.近世の長崎を研究しよう</b> 生徒が設定した課題を研究していく中で、郷土の歴史資料に興味を持ち、それらの知識をもとに、郷土の歴史や海外との交流について考えることができる。	66
高	総合的な学習の時間	<b>22.長崎貿易を学習しよう</b> 博物館の展示資料を見ながら、長崎貿易をくわしく学習することができる。	68
中・高	美術	<b>23.昔の絵画を見てみよう</b> ～屏風・掛幅・卷子、その違いがわかるかな?～ 長崎派の美術を通して日本の美術や郷土の美術に興味・関心を高めることができる。	70

# 01 昔のくらしを調べよう

博物館の展示品を見て、江戸時代の町屋のくらしを知ることができる。

○昔の生活や道具について調べ、昔の人々の知恵や工夫に気づき、当時の人々が生活の向上を願ってきたことを考えることができる。

## 学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
計画を立てる 1時間	<p>博物館のパンフレットをもとに見学計画を立てる</p> <p>○歴史文化博物館の施設や展示資料について学習する。</p> <p>○班ごとに展示計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学活等の時間を使い事前に歴史文化博物館見学の心構えや注意事項を確認する。</li> <li>インターネットなどを使用させ博物館について事前に理解させる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>事前打合せ／博物館↔学校</b> ※展示資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次の単元「ふるさと歴史マップ」で調べる文化財についてもふれておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館パンフレット</li> <li>インターネット</li> <li>学習カード</li> </ul>
調べる 3時間	<p style="text-align: center;"><b>博物館を見学しよう</b></p> <p>○歴史、祭、伝統産業などいろいろなコーナーを見学したり、ワークショップテーブルで体験学習をする。</p> <p>○職員に昔の生活や道具の話を聞き、実際に体験することで当時の生活を知る。</p>	<p style="text-align: center;"><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各グループが調べるテーマに沿った見学や情報収集ができているか、職員と教師により引率する。</li> <li>あらかじめ質問したいことをまとめさせておく。</li> <li>「ふるさと歴史マップ」の文化財についても調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館パンフレット</li> </ul>
まとめ 3時間	<p>○昔の生活や道具について調べたことを、今の生活や道具とくらべながら絵カードにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館のホームページを活用させる。</li> <li>家庭にも通信などで連絡をし、家庭での調べ学習の時間を確保してもらう。</li> </ul>	



館内展示物の中から「日本で最初」のものを探すことで、楽しく博物館を見学でき、また、日本や長崎の歴史に興味をもつことができる。

学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前学習 30分	<p><b>探偵団になる準備をしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</li> <li>○博物館にはたくさんの「日本で最初」のものが展示されていることを学習カードや職員の説明により知る。</li> <li>○今回それらを探すことになるが、その際のポイントや、注意すべき点を理解する。</li> </ul>	<p>事前打合せ／博物館 ↔ 学校 ※展示資料の確認</p> <p><b>見学マナーの指導</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ガイドやパンフレット</li> <li>・学習カード</li> </ul>
問題追求 2時間	<p><b>展示室で調べよう。(資料を見る)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードをもとに、各自または班で調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしても探せない時は、職員や教師がヒントを与える。</li> <li>・友達どうして教えあってもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室内資料</li> <li>・展示キャプション</li> <li>・学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p><b>調べたことを発表し、話し合おう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○探した物を発表し話し合う。</li> <li>○職員や教師の講評を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の活動に対する、適切な講評をおこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>

## 【参考】人物解説

### ポンペ・ファン・メールデルフォールト(1829～1908)

オランダの海軍軍医。1856年長崎における第二次海軍伝習教育派遣隊の一員として来崎。5年間に渡り多くの医学生を育てた。また多くの患者を診療しその数は14,530人といわれる。1861年幕府に建議して洋式病院療養所を設置させた。

### 上野彦馬(1837～1904)

わが国初期の写真術開拓者。御用時計師、上野俊之丞の四男として、長崎市銀屋町に生まれる。1858年化学の研究所であった「舎密試験所」に入門しポンペの指導を受ける。三重県津藩、堀江欽次郎と共にポンペから写真術のことを聞き写真機の製作や撮影の研究を開始した。1860年江戸神田にて写真を撮影する。1862年長崎に戻り上野撮影局を創設し、全国から多くの入門者を集めた。

### 本木昌造(1824～1875)

はじめは、訳官として幕府の外交交渉に当たる。明治維新後は、長崎製鉄所頭取となった。わが国最初の鉄橋をかけたのも、本木の功績である。1870年、築町に活版所を創設、活字製造と印刷に従事した。日本最初の新聞にも本木の活字が使われている。

## 学習カード

博物館でみることが出来る「日本で最初」のもの。

実物・写真・絵	みつけたら○	みつけた場所
ビリヤード (パネル)		
めがね		
赤レンガ(文字パネル)		
カルタ		
ぶどう酒 (瓶)		
鉄 橋 (文字パネル)		
新 聞		
ゾ ウ (奉行所ゾーン)		
ラクダ		
ガラス(ギヤマン)		
メスなどの外科道具		
カメラ		
ヨーロッパ風の病院		
かんづめ		
蒸気機関車 (パネル)		
印刷機		

長崎の出島の様子を調べ、鎖国における出島の役割に関心を持つことができる。

## 学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
問題把握 1時間	<p>出島について知ろう</p> <p>○出島の様子について話し合う。</p> <p>○調べる課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府はどうして鎖国をしたのか</li> <li>出島はどのような役割をはたしたのか</li> </ul> <p>○予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キリスト教と関係あるのかな</li> <li>島原の乱と関係ありそうだ</li> <li>出島から貴重な貿易品が入ってきた</li> </ul> <p>○調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や資料集を使って</li> <li>インターネットを使って</li> <li>博物館へ行って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出島の絵を提示し気づいたことを発表させる。</li> <li>出島は西洋に開かれた唯一の窓口であったことを確認させる。</li> <li>出島の絵を見て気づいたことをもとに二つの視点にしばり問題をつかませる。</li> <li>年表を手がかりにしながら予想させる。</li> </ul> <p>・鎖国の理由については主に教科書や資料集を使い、出島の役割については主に博物館での学習を考えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寛文長崎図や出島図など</li> <li>鎖国に関する歴史年表</li> </ul>
問題追求 2時間	<p><b>博物館で調べよう</b></p> <p>○鎖国下の出島の役割や幕府の政策について博物館の展示資料を見たり、職員に聞いたりして調べる。</p> <p>(関連展示コーナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大航海時代</li> <li>長崎貿易</li> <li>オランダとの交流</li> <li>貿易都市長崎</li> <li>長崎奉行所キリシタン関連資料</li> </ul>	<p><b>事前打合せ／博物館 ↔ 学校</b></p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前に博物館のパンフレットやホームページで「出島」や「外国との関わり」に関するコーナーについて把握させる。</li> <li>時間を十分にとり目的に応じて見学活動できるようにする。</li> <li>必要に応じて職員に鎖国下の出島の役割や幕府の政策についての具体的な解説をしてもらい、理解を深めさせる。</li> <li>出島資料館とも連携して、調べ学習に対応させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館ガイドブック等</li> <li>展示資料やキャプション</li> <li>博物館検索システムや参考図書</li> <li>学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p>調べたことをまとめよう</p> <p>○調べたことや、わかったことをまとめ、それをもとに幕府の政策の是非や出島の役割について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べてわかったことにとどまらず、調べたことから自分の考えがもてたかについて評価し、助言する。</li> <li>鎖国の政策がその後の日本に及ぼした影響を多面的に考えさせたい。</li> <li>郷土長崎の鎖国下の役割を再認識させ、誇りを持たせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館で調べた学習カード</li> </ul>

## 学習カード



※円山応挙／長崎港之図より出島の部分

出島の絵を見て不思議に思ったことや、調べてみたいことをまとめよう。

学習問題

予想

博物館でわかったこと。

●調べたことから考えたこと、もっと知りたいことをまとめよう。

●学習問題についてまとめよう。

## 04 長崎開港 - 南蛮人ってどこの国の人？

意欲的に博物館の展示物を調べ、中近世における貿易圏の拡大や、キリスト教の関係、鎖国との関わりなどが理解できる。

### 学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前学習 1時間	<p>なぜ鎖国したのか考えよう</p> <p>○江戸幕府はなぜ鎖国したのか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの考えを自由にのびのび発表させる。</li> <li>キリスト教との関係や、長崎の歴史的な背景についても考えさせる。</li> <li>鎖国完成までの流れを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>参考図書や図録など</li> <li>インターネットの活用</li> </ul>
問題追求 2時間	<p><b>博物館で調べよう</b></p> <p>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</p> <p>○学習カードをもとに展示資料を見る。</p> <p>○職員の話聞く。</p> <p>○わからないことや疑問点を職員に聞く。</p>	<p><b>事前打合せ／博物館 ↔ 学校</b></p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員と教師の指導で、問題点を解決させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設ガイドやパンフレット</li> <li>オルテリウス世界図</li> <li>泰西王侯図屏風</li> <li>南蛮人来朝之図等</li> <li>展示キャプション</li> <li>学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p>調べたことを発表し、話し合おう</p> <p>○調べたことを発表し話し合う。</p> <p>○話し合ったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キリスト教と南蛮文化の関係について知らせる。</li> <li>鎖国とキリスト教の関係について理解させる。</li> <li>日本と東南アジアの地図などをつかい貿易圏の広がりについて理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>

## 【参考資料】泰西王侯図屏風

### 【イエズス会セミナリヨ学舎：泰西王侯図屏風】

ストラダーノ原画「ローマ皇帝画集」やコルネリウス・ハレ、テオドール・ハレ兄弟刊「福音イグナティウス・デ・ロヨラ伝」など、1610年以降に出版された銅版画の図像をもとにしていると考えられている。1610年代、セミナリヨの活動は長崎一帯に限られており、この作品も同地で制作されたと思われる。またイエズス会の紋章が描かれているのも注目される作品である。

### 『セミナリヨ学舎』

イエズス会の中等教育機関。天正8年（1580）、安土と有馬におかれたのが始まり。禁教令の発効により神学校的な性格が強くなり、音楽、絵画、彫刻、印刷（銅版画）などの工房が併設された。天正15年にセミナリヨは、有馬に合併され、その後浦上、平戸、有馬、八良尾、加津佐、八良尾、有家と転々とし、慶長2年（1597）長崎に移り、同19年（1614）に閉鎖された。その活動は、南蛮美術の源流となったと考えられる。

## 学習カード

展示されている地図を見て感じたことをまとめよう。

「南蛮人来朝之図」を見て推理しよう。

- ①どんな職業の人たちがいる？ 推理してみよう。
- ②描かれた建物はなんだろう？ 推理してみよう。
- ③どこの国の人描かれている？ 推理してみよう。
- ④描かれている町はどこだろう？ 推理してみよう。

なぜ幕府はキリスト教を禁止したのか推理しよう。

## 05 寛文長崎図屏風から国際貿易都市長崎を見る

意欲的に調べ、討議することで鎖国下の貿易を理解することができる。

### 学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前学習 1時間	<p>鎖国下の対外関係について知ろう</p> <p>○江戸時代の長崎について知って ることを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの考えを自由にのびのび発表させる。</li> <li>長崎の歴史的な背景についても考えさせる。</li> <li>鎖国完成までの流れを理解させる。</li> <li>鎖国下の江戸幕府の対外政策について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>参考図書や図録など</li> <li>インターネットの活用</li> </ul>
問題追求 2時間	<p><b>博物館で調べよう 長崎図屏風を見る</b></p> <p>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</p> <p>○学習カードをもとに「寛文長崎図屏風」を見る。</p> <p>○職員に話を聞く。</p> <p>○わからないことや疑問点を職員に聞く。</p>	<p><b>事前打合せ／博物館↔学校</b> ※展示資料の確認</p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <p>・職員と教師の連携により、問題点を解決させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設ガイドやパンフレット</li> <li>展示室内作品</li> <li>寛文長崎図屏風等</li> <li>展示キャプション</li> <li>学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p>調べたことを発表し、話し合おう</p> <p>○調べたことを発表し話し合う。</p> <p>○話し合ったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府が外国とどのように係わったのかを理解させる。</li> <li>日本と東南アジアの地図などをつかい貿易圏の広がりについて理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>

## 【資料】寛文長崎図屏風

### POINT

「寛文長崎図屏風」の屏風絵で注目すべきは、停泊する数々の船と祭の情景、町の様子である。ここでは、貿易をキーワードに事例を考えたが、「くんち」を取り上げ、地方の生活文化と関連づけた指導も可能である。

「寛文長崎図屏風」に出てくる船を大別すると唐船と蘭船の二種類である。しかしよく見ると唐船のマストにオランダ国旗が掲げられていたり(船の下部にはんたんという文字がある:バンタンのことで現在のジャワ島にある地名)明らかにオランダ国旗でない船(リターン号:1673年入港のイギリス船)を見ることができる。この謎解きをさせ、班ごとに討議させることも可能である。長崎の港から東南アジアに開かれた窓を見出し、その貿易圏に参入してきた東インド会社(オランダ)の動きを見て取ることができる。

## 学習カード

### ●「寛文長崎図屏風」を見て調べよう。

①長崎港に入港している外国船の国旗のデザインと船の特徴をまとめよう。またそれはどこの国でしょうか。

[デザイン]	[国名]	[デザイン]	[国名]
[特徴]		[特徴]	

②唐船の中にオランダ国旗を掲げた船があります。なぜでしょう。推理してみよう。

(ヒント)唐船の下部に地名が書かれています、なんと書いてあるのでしょうか。そして、それらの現在の地名を考えてみましょう。

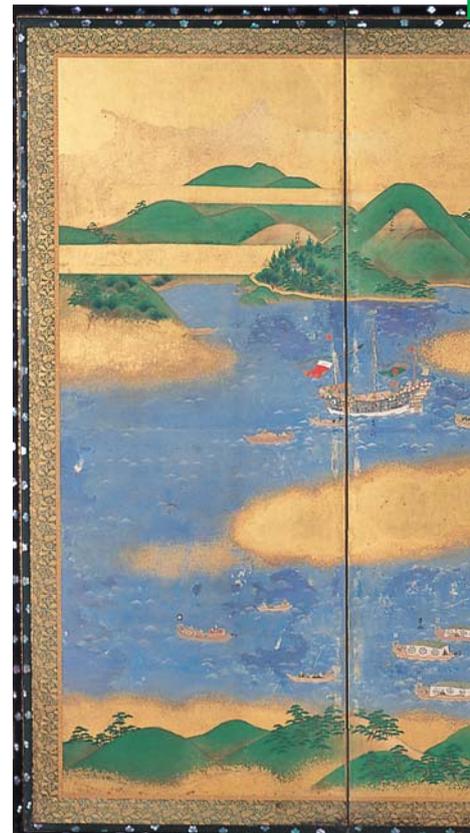
③オランダ国旗と違う国旗を掲げた船があります、その船の国名と来航した理由について推理してみよう。

### ●屏風を見ての気づきや感想を書こう。

## 【資料】寛文長崎図屏風



右隻第5扇(部分)リターン号  
【寛文長崎図屏風】  
右隻、第1・2・3・4・5・6扇(右より)





左隻第1扇(部分)唐船

【寛文長崎図屏風】

左隻、第1・2・3・4・5・6扇(右より)



絵巻を手がかりにして、鎖国下の貿易について知ることができる。

## 学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前学習 1時間	<p>出島の貿易品について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸時代の長崎について知っていることを話し合う。</li> <li>○江戸時代の貿易品には、どんなものがあったのかを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの考えを自由にのびのび発表させる。</li> <li>・長崎の歴史的な背景についても考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・参考図書や図録など</li> <li>・インターネットの活用</li> </ul>
問題追求 2時間	<p><b>博物館で調べよう 絵巻を見る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</li> <li>○学習カードをもとに「唐館蘭館図絵巻：石崎融思」「唐館蘭館絵巻：川原慶賀」を見る。</li> <li>○絵巻以外の資料を見る。</li> </ul>	<p><b>事前打合せ／博物館 ↔ 学校</b> ※展示資料の確認</p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と教師の連携により、問題点を解決させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ガイドやパンフレット</li> <li>・展示室内資料</li> <li>・展示キャプション</li> <li>・学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p>調べたことを発表し、話し合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことを発表し話し合う。</li> <li>○話し合ったことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎖国下の出島の役割について知らせる。</li> <li>・鎖国の対外政策が、その後の日本に及ぼした影響について考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>

## 【資料】唐館蘭館図絵巻：石崎融思

本絵巻は、明治時代に国外に持ち出されたもので、唐館図の巻末から、その制作年が享和元年（1801）融思33歳の時と断定できる。その詳細な描写は、情報量の多さを示しており、注目に値する。本絵巻に描かれた出島は、寛政10年（1798）3月9日大火災後の出島で、出島の変遷をたどる意味からも大変貴重な資料といえる。

## 【資料】唐館蘭館絵巻：川原慶賀

1巻は唐船入津、荷揚水門、水門内部、上陸道中、唐館表、唐人部屋遊興、龍踊、観劇、唐船出航、彩舟流の10図が描かれ、2巻には蘭船入港、荷揚、商品入札、商品計量、倉庫前銅請渡、庭園内動物、調理室、宴会図、娯楽室（玉突き）、蘭船出航の10図が描かれている。この絵巻は、西洋画法について心得のあった慶賀の代表作であるとともに、長崎に入港してきた唐蘭人の館内における生活の様子を克明に記録的に描かれている。

## 学習カード

- 「とうかんらんかんず えまき いしざきゆうし唐館蘭館図絵巻：石崎融思」かわはらけいが「唐館蘭館絵巻：川原慶賀」の中には、たくさんの人や動物が描かれています。（眼鏡をかけた人もいるよ。鳥にえさをやっている人もいるよ。日本にいない動物もいるよ。働いている人、遊んでいる人、いろいろな人たちがいるよ。）気になる人や動物たちを探してみよう。

特徴のある人物は絵に描いて見ては？

- 外国と取り引きしていた品々について考えて見よう。（輸出品と輸入品）そして、それはどの場面でわかるか推理してみよう。

## 資料に見る江戸時代の長崎／からえめき唐絵目利きと町絵師：石崎融思と川原慶賀



### 【石崎融思／いしざき ゆうし 1768-1846】

唐絵目利・荒木元融の子どもですが、師・石崎元徳の跡を継いだので石崎姓を名乗りました。父元融から西洋画を、師元徳から漢画を学び、さらに当時のいろいろな流派を学んで、多方面に渡って活躍しました。当時の長崎画壇の大御所的存在で、門人も300余人を数えたそうです。川原慶賀の父香山とも親密な関係で、慶賀にも影響を与えました。融思は、出島に出入りしていたので、実際に西洋の絵画を見ることができたとし、西洋画が、どういふものかについては体験的に知っていたと考えられます。そのことは作品に見られる遠近法的処理によってわかります。しかし、融思が西洋画そのものを描いた形跡は見られません。幕末に活躍した木下逸雲や鉄翁も融思の門下生でした。

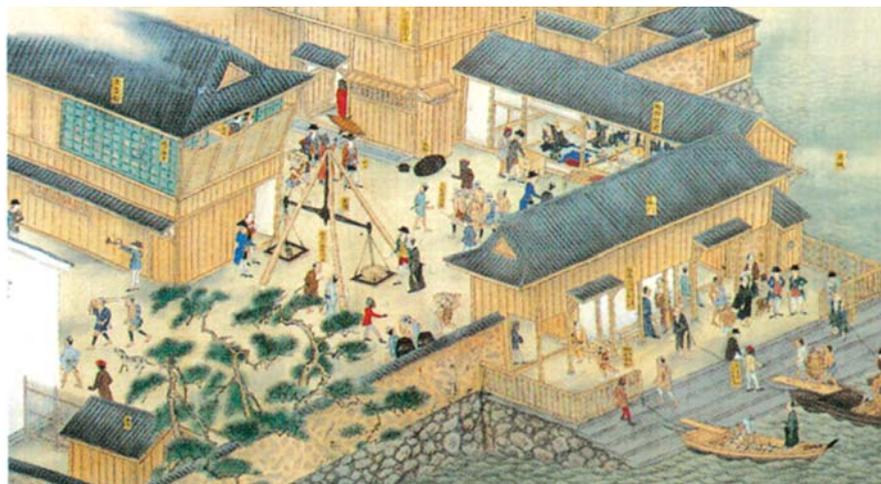
### 【川原慶賀／かわはら けいが 1786-1862?】

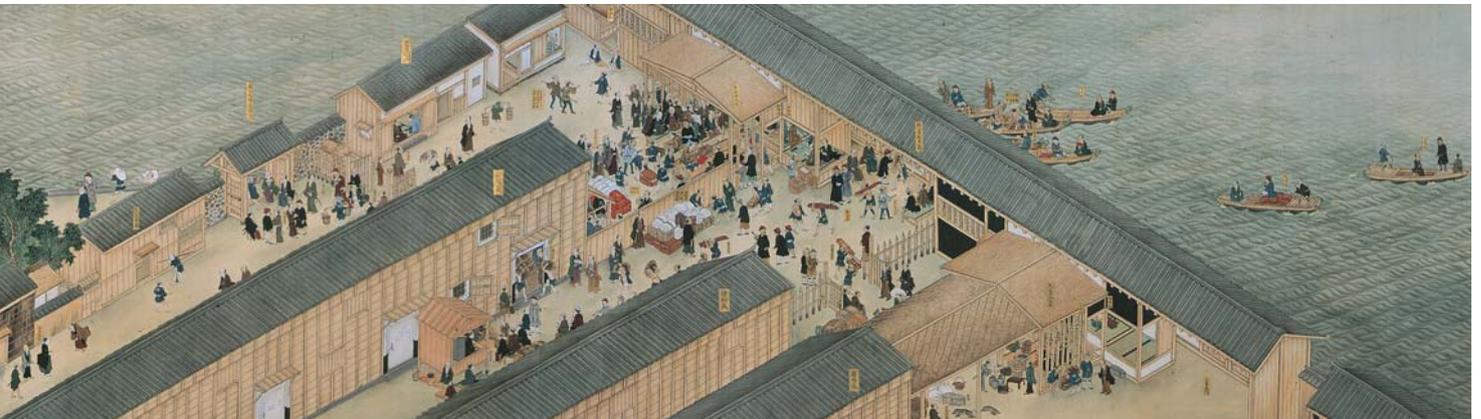
みなさんはシーボルトのことは知ってるでしょう。出島に来て日本に近代医学をもたらした人物ですね。ところが、シーボルトは医学以外にも植物学、動物学、民俗学、地理学にも深い関心があり当時の日本のことを「日本」「日本動物誌」「日本植物誌」という書物によってヨーロッパに知らせた人でもありました。その図版を描いたのが川原慶賀なのです。

通称登与助（シーボルトの著書や手紙の中に出てくる）。父香山に絵を習い、1811年(文化8)には、出島に自由に出入りできる「出島出入り絵師」となっていたようです。1823年(文政6)シーボルト来日後、お抱え絵師となりシーボルトの日本研究になくはならない人になりました。シーボルトは慶賀に採取した植物の標本図や日本の風俗を次々と描かせました。慶賀は、いわば現代のカメラの役割を果たしていたのです。つまり、慶賀には正確さや事実を伝える絵が要求されたのです。1825年には、シーボルトがジャワから呼びよせたオランダ人画家フィレンニューフェに西洋画を学んでいます。1828年、シーボルト事件で連座し、1842年再びその作品が国禁にふれ、長崎から追放されています。その後長崎に戻り、個人の注文に応じて絵を描いたり、版画の下絵などを描きました。シーボルト時代の作品の多くがオランダのライデン民俗学博物館に所蔵されています。

### 【唐絵目利き?】

唐絵目利きとは、長崎における地役人の職種で、長崎に艦載された絵画の制作年代、質、価格などを鑑定する役目でした。また輸入品の模写をする場合もあり、画法を身につけた家系がこれにあたりました。1697年(元禄10)意向に正式に「唐絵目利き」の職種が制度化されています。渡辺、広渡、石崎、荒木の四家が世襲的に受け継ぎ、この四家とその周辺の画家によって事実上の長崎画壇が形成されていたようです。





【石崎融思／唐館蘭館図絵巻（唐館図/部分）】

川原慶賀 唐蘭館絵巻より



【蘭船入港図】



【商品計量図】



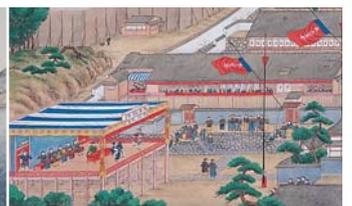
【荷揚水門図】



【宴会図】



【唐船入港図】



【観劇図】



【石崎融思／唐館蘭館図絵巻（蘭館図/部分）】

復元された長崎奉行所立山役所を見ることで歴史への関心を高めることができる。

学習過程

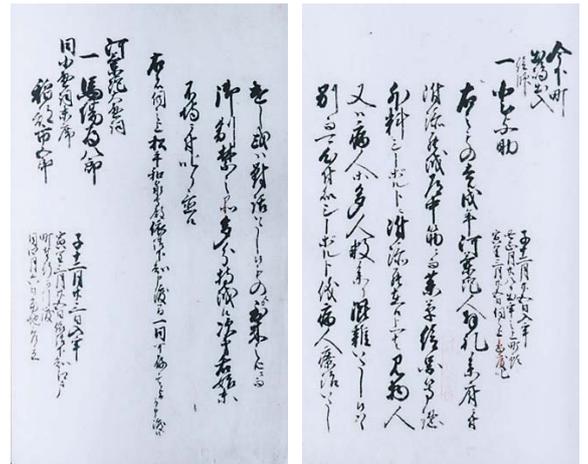
	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前学習 1時間	<p>奉行所の役割や仕事について考えよう</p> <p>○江戸時代の長崎について話し合う。</p>	<p>・自分たちの考えを自由にのびのび発表させる。</p> <p>・長崎の地理的、歴史的な背景についても考えさせる。</p>	<p>・長崎市地図</p> <p>・参考図書や図録など</p> <p>・インターネットの活用</p>
問題追求 2時間	<p><b>博物館で調べよう 資料を見る</b></p> <p>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</p> <p>○学習カードをもとに長崎奉行所関連展示を見る。</p> <p>○長崎奉行所情景展示を見る。</p>	<p><b>事前打合せ／博物館↔学校</b> ※展示資料の確認</p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <p>・職員と教師の連携により、問題点を解決させる。</p>	<p>・施設ガイドやパンフレット</p> <p>・展示室内資料</p> <p>・展示キャプション</p> <p>・学習カード</p>
まとめ 1時間	<p><b>調べたことを発表し、話し合おう</b></p> <p>○調べたことを発表し話し合う。</p> <p>○話し合ったことをまとめる。</p>	<p>・鎖国下の長崎奉行所の役割について理解させる。</p>	<p>・学習カード</p>

## 【資料】長崎奉行所

豊臣秀吉の長崎代官任用を起源とし、幕末（1868年）まで125代におよぶ。はじめは定数1人で南蛮船入港前（6月頃）と帰帆後に江戸～長崎間を往来した。のち2～4人となり半数が滞在して執務した。その職責は、貿易・外交が最も重要な職務であった。唐蘭貿易を監督すると同時に諸外国の動静を探って、万一の異変に備え、ことあるときは將軍の名のもとに諸侯に号令をする権限を与えられていた。いわば奉行は行政・警察・裁判事務はもとより外国との貿易、長崎の防備に至る全般を掌握していた。

### 【犯科帳って？】

「犯科帳」とは長崎奉行所の裁判記録である。この中から、長崎ならではの犯罪である密貿易や漂流民に関する興味深い事件なども見ることができる。



今下町出嶋出入絵師 登与助  
(川原慶賀)とあり、シーボルト  
事件の記録ということがわかる。

## 学習カード

なが さき ぶ ぎょう しょ たて やま やく しょ  
長崎奉行所立山役所ってどんなところ？感想をまとめよう。

奉行の仕事についてまとめよう。

奉行の一年間を覗いてみよう。

キリシタン関連資料を見ての感想をまとめよう。

長崎の歴史や文化に関するテーマを意欲的に追求することで、長崎に対する誇りと愛情を深めることができる。

学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
学習計画 4時間	<p>学習課題を決めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館の概要を知る。</li> <li>○学習テーマを決める。 〈テーマ例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダ人と長崎</li> <li>・出島</li> <li>・中国人と長崎</li> <li>・江戸時代の長崎の町</li> <li>・おくんち</li> <li>・江戸時代の貿易品</li> </ul> </li> <li>○追求する計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館のホームページやパンフレット等を紹介し興味関心を持たせる。</li> <li>・ホームページやパンフレット等でどんなコーナーがあるのか十分に調べさる。</li> <li>・多くの情報の中から自分の興味関心のあるコーナーを選択させ、学習課題を持たせる。</li> <li>・どの展示コーナーでどんなことを追求するのか、具体的に計画させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館ホームページ、パンフレット</li> </ul>
問題追求 4時間	<p><b>博物館で調べよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館を見学する。</li> <li>○見学後、さらに詳しく知りたいことを調べる。</li> </ul>	<p><b>事前打合せ／博物館↔学校</b></p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学後の新たな疑問を大切に、深く追求活動ができるように支援する。</li> <li>・必要な資料は、どうすれば入手できるか、適切な助言できるようにしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館パンフレットやガイドブック</li> <li>・学習カード</li> </ul>
まとめ 4時間	<p>調べたことをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことをいろいろな表現方法でまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことの羅列や網羅的なまとめにならないよう留意し、わかったことだけでなく、そこから考えたことや自らの学びの過程をまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>
発信 5時間	<p>長崎のよさをみんなに伝えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちでまとめた長崎の歴史やすばらしさについて、小冊子にしたりホームページで発信する。</li> <li>○博物館の見所についてホームページで発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎の歴史のよさをいろいろな人に知ってもらおうというコンセプトで発信活動を計画、実践させたい。</li> <li>・博物館の見所マップなども作成させたい。</li> </ul>	

〈備考〉・近隣の学校は調べた後も博物館での学習ができるように配慮する。  
・遠方の学校は、EメールやFAXなどを有効活用して、追求活動が進められるよう配慮する。

## 学習カード

博物館のホームページをみて「行ってみたいな」と思ったコーナーをメモしておこう！




学習テーマ 自分が一番興味があるものをもとに学習テーマを決めよう！

●博物館を見学して、「はっけん」したことや「？(はてな)」を記録しよう！  
「はっけん」-見つけたこと、わかったこと、考えたことを書いてみよう。

「？」-なぜ？どうして？もっと知りたい！ことをまとめよう。

### 体験的に学べるコーナーの紹介

オランダ船、唐船の積荷の価値	いくらで買える？江戸時代の輸入品。 天秤に載せると当時の積荷の現在の価値がわかります。
デジタル絵巻 「地図で読み解く出島の暮らし」	好きなところが見られて描かれた人物や出島の秘密を読み解ける “デジタル絵巻”
よみがえる唐人屋敷	模型でよみがえった唐人屋敷の中のくらしをCGで表現。市や祭、宴会などの見所を案内するバーチャルツアー。
バーチャルウォークシアター	寛文長崎図屏風の中に入り込んで貿易都市長崎を歩く体験。 江戸時代のくんちのにぎわいを実感できます。
町人文化体験ステージ	いつ来ても新鮮な長崎の人・くらし・文化の出会いの場。 長崎の町屋のようすを体験できます。

歴史文化博物館の資料を見学することで、興味・関心の高いテーマを設定した学習ができる。

学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
問題設定 6時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○織田・豊臣の天下統一・キリスト教の伝来(長崎との関連)を学習したことを思い出す。</li> <li>○社会科授業のまとめや、博物館の資料、『ふるさと学習資料〔1〕私たちの郷土(歴史)』などを見ることにより、自分の調べたいことを考える。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>博物館を見学する</b> ※他の見学場所も考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</li> <li>○見学を通して、自分の課題をさがし研究テーマを考える。</li> <li>○調べてわからないことなどを職員に聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の3人の武将(織田信長・豊臣秀吉・徳川家康)を学習した後、まとめの新聞作りをさせ、これから調べたいことについて考えさせる。(社会科との関連)</li> <li>・博物館の資料をインターネットを活用して見せる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>事前打合せ／博物館↔学校</b> ※展示資料の確認</p> <p style="text-align: center;"><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題は、子どもたちにとって、追求するのに困難なものが予想されるため、課題をいくつか考えておく。</li> </ul> <p>例：①鎖国 ②出島 ③キリスト教等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの郷土等</li> <li>・インターネット</li> <li>・博物館パンフレット</li> </ul>
問題追求・まとめ 10時間	<p>調べたことをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループや個人で調べる計画を立てる。</li> <li>○計画に沿って調べる。</li> <li>○調べたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の課題をあらかじめ教師でグループングしておく。</li> <li>・子どもたちが行う活動や調査について把握しておく。</li> <li>・博物館やその他の見学地を調べる場合、日程の調整をしておく。</li> <li>・「わかりやすくまとめる。」ことを目標にして、写真や図、表を用いることを助言しながらまとめさせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館パンフレット等</li> <li>・パソコン</li> <li>・模造紙</li> <li>・OHP</li> </ul>
発表 2時間	<p>調べたことを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことを発表する。 ※質問タイムをとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち同士で調べた内容や調べた方法について質疑をすることで自分の学習をさらに深められるようにする。</li> </ul>	
発信 5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで調べたことをホームページを使って発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権の問題等を考慮に入れて、ホームページの作成に支援する。</li> </ul>	

## 資料／筆者不詳：南蛮人来朝之図



【南蛮人来朝之図】

### 【資料解説】

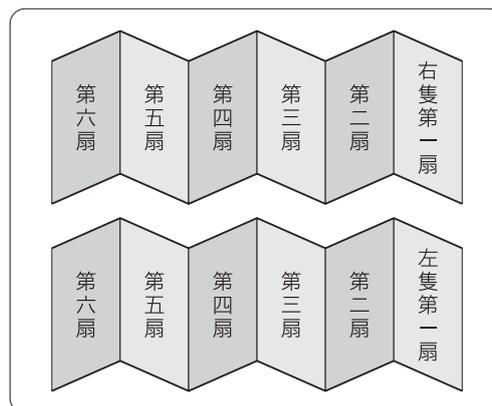
ポルトガル人が来日するようすを描いた六曲一双の屏風絵で南蛮屏風といわれているものです。左に南蛮船と荷揚げのようすを、右に船長たちの南蛮寺（キリスト教会）への行進とそれを迎える神父たち、西洋人一行をめずらしそうに迎える日本人を描いています。肥前名護屋城造営にかかわった狩野派の絵師たちが、長崎まで足をのばし、南蛮風俗をスケッチして帰ったのが始まりとする説が有力視されています。

### 「右隻第一扇」って、なんだ？

屏風絵を使っでの授業で知っていたほうが便利ことがあります。左右一対からなる屏風では、右側を右隻、左側を左隻と呼びます。

そして、それぞれ右側から第一扇、第二扇、第三扇…と呼びます。六つに折れ曲がっているので「六曲」、左右一対からなるので「一双」（続けて呼ぶと「六曲一双」）と呼びます。

※『寛文長崎図屏風』『泰西王侯図屏風』等も「六曲一双」です。



雨森芳洲や朝鮮通信使を通して江戸時代の日本と朝鮮の交流関係を知ることができる。

学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前学習 1時間	<p>対馬と朝鮮の関係について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸時代の貿易について知っていることを話し合う。</li> <li>○江戸時代の対外関係について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの考えを自由にのびのび発表させる。</li> <li>・長崎の地理的な背景についても考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳</li> <li>・参考図書や図録など</li> <li>・インターネットの活用</li> </ul>
問題追求 2時間	<p><b>博物館で調べよう 資料を見る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員で博物館の概要や資料について聞く。</li> <li>○学習カードをもとに「朝鮮通信使行列絵図」を見る。</li> <li>○雨森芳洲の資料を見る。</li> </ul>	<p><b>事前打合せ／博物館 ↔ 学校</b> ※展示資料の確認</p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と教師の連携により、問題点を解決させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ガイドやパンフレット</li> <li>・展示室内資料</li> <li>・展示キャプション</li> <li>・学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p><b>調べたことを発表し、話し合おう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことを発表し話し合う。</li> <li>○話し合ったことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎖国下の日朝関係における対馬の役割について知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>

## 【参考】人物・資料解説

### 雨森芳洲 あめのもりほうしゅう(1668～1755)

江戸中期の対馬藩の儒学者。近江国伊賀郡雨森村に生まれ、江戸に出て木下順庵に学び新井白石らと共に木門の十哲と称せられ、1689年対馬藩に仕官した。幕政の中心にあった新井白石が、将軍の権威を高めること、また応接の経費を軽減することを目的として、時の対馬藩主宗義方に朝鮮通信使の待遇を簡略化しよう命じたのに対し、強く反対した。この「復号一件」や銀輸出規制問題など、藩の命運に係わる重大事件に際しては、釜山や江戸にて難しい交渉役を果たした。朝鮮語、中国語にも通じ、語学の堪能さは国内外において有名だった。「交隣提醒・こうりんていせい」「橘窓茶話」等多くの著書を残し88歳で対馬府中に没した。墓所は対馬市厳原町長寿院にある。

### 朝鮮通信使行列絵巻

朝鮮通信使の来朝は慶長12年(1607)より文化8年(1811)まで12回ある。旧対馬藩主宗家旧蔵のこの絵巻は、年次が判然としている正徳元年(1711)以前の様子を描いた最古のものと考えられている。通信使・警護の武士・騎上の武士など総数530人の人物が躍動的に描かれ、歴史的資料として高く評価されている。

## 学習カード

ちょうせん つうしん しぎょうれつ えまき

朝鮮通信使行列絵巻を見て推理しよう。

①一番偉い人は誰だと思う？その人の顔を描いてみよう。

そして偉いと思ったわけを推理して書こう。

わけ

顔

②日本と朝鮮の関係はよかったのかな？わるかったのかな？推理してそのわけを書こう。

雨森芳洲のプロフィールをまとめよう。 出身地 やどんな人かなど。

顔